



ともに生き ともに創る 彩りのまち調布

市報

ちようふ



令和6年(2024年)
No.1778

12/5

CONTENTS(主な内容)

令和6年度上半期の財政状況	3
令和7年度から適用される 市・都民税(住民税)の主な改正点	4
寄附に関する税の申告	4
マルシェドゥ 調布	12



子育てを応援！12月から始まりました！

ちようふ おやこ手帳アプリ

子どもの成長も
簡単に記録

市からお知らせ
などの情報が
プッシュ通知で届く

母子健康手帳の
記録を入力

AIが予防接種の
予定を自動で管理

子育て支援情報誌
「元気に育て!! 調布っ子」
の閲覧もできる

妊娠したらアプリから
「ゆりかご調布面接」の
予約もできる

妊娠中の体調管理や
日記を写真で残せる

近くの医療機関や
子育て施設が
すぐに見つかる



登録方法など、
詳細は2面へ

調布市健康推進課 ☎042-441-6100

手をつなぐ樹 455



70問

何か自分の関心のある活動についてそれを究めたい、あるいはレベルアップを図りたい、誰しも人生の様々な局面で念願する。その対象がたとえ生計を営む上での手段だろうと、スポーツや芸術などの余暇における趣味であろうと。少しでも上の段階に到達しようと思えば努力するし、上達を明確に自覚することができた時の達成感に誠心込めたい。しかし当然のことながら、いつもかたがううまく運ぶとは限らない、と言った方が少ないというのがある。世の常だ。その原因として、は、事象によっては運の要素もあるだろうが、第一に基本、本質の正しい理解が必要不可欠なことを多くの人が経験則として認識している。

予備校に通っていた時に数学の授業で、ある年配の先生がこう言われた。「受験の数学なんでものはね。ただかか100問、いや70問が解ければいけないんだよ。」そして、ニヤツと笑ってこう続けた。「だがね、君たちには、その70問の間違いがわからないんだよ。」

なぜかその言葉が強く印象に残り、からかうような顔をして同席するような先生の顔を半世紀以上たっても時折思い出す。ただ、それは誰だって無駄なこととはしたくないから、何に取り組みむ時も可能であれば70問で済ませたい。でも、それができない凡人としては、200問、300問に挑むとして、それを逆に人生の面白みと捉えればよいのではなからうか。たとえ負け惜しみと言われたとしても。

調布市友
友貴樹